



— 船橋市青少年の環境を良くする市民の会広報紙 —

「市民の会」シンボルマーク
第43号

編集発行：
船橋市青少年の環境を良くする市民の会

事務局：
船橋市教育委員会青少年課内

TEL：047(436)2902

市民の会の皆様には、日頃より青少年の健全な育成のため、多大なご尽力をいただいております。ことに改めて厚くお礼申し上げます。そして心より敬意を表します。

近年、社会や経済情勢の変化に伴い個々の家庭における生活様式や価値観も変わり、小中学校PTAの解散などで、市民の会の運営や活動が厳しい地区もあります。ただ、そうした変化の中でも勉強に、部活に、そして自分の将来に向かって、真剣に一生懸命取り組んでいる子がたくさんいます。今、私たちにできることはこうした子供たちを見守り、寄り添い、健全に育ててくれるための環境づくりに地道に取り組んでいくことだと思えます。私たちの活動は微力かもしれませんが決して無力ではありません。

今、小中学校の教育課程で「SDGs」に取り組んでいるところが多くあります。昨年、地元中学校の校長先生から学校教育の中での取組みについて話を伺いました。



今、私たち「じけんかい」

船橋市青少年の環境を良くする市民の会 会長 早川 淑男

子供たちは自分たちの将来に向けて「他人事」でなく「自分事」と考える子が多いと力強く語ってくれました。ある生徒は「プラごみ」による海洋汚染が世界を駆け巡ると日本の海はどうなるんだろう、日本だけでは防ぐことは出来ず、世界中の人たちが今こそ気を付けなければならぬと話してくれました。私はこうしたことを真剣に考える子がいることを頼もしく、深く感銘しました。「SDGs」の目標は決して難しいものばかりではありません。部屋の電気をこまめに消す、冷蔵庫やエアコンの温度を適切にする、マイバッグ・ボトルを持つなど身近なことが持続可能な未来に繋がります。その生徒のグローバルな視点と共に私たち大人も実践することが大事です。多岐に亘る市民の会の活動でもこれらの視点を取り入れながら子供たちに接していくことが求められているのではないかと思います。引き続き皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

船橋市青少年の環境を良くする市民の会・現在の地区組織 19地区名(順不同)

高根台地区	豊富地区	松が丘地区	塚田地区	前原地区	高根中地区	小室地区	御滝中地区	習志野台地区	芝山地区	飯山満中地区	若松地区	八木が谷中地区	法典地区	七林地区	宮本地区	二宮中地区	海神地区	船橋中地区
-------	------	-------	------	------	-------	------	-------	--------	------	--------	------	---------	------	------	------	-------	------	-------

船橋市青少年相談員連絡協議会 60周年記念式典について

船橋市青少年相談員連絡協議会 会長 奥住直久

青少年相談員は、昭和38年10月に千葉県で制度化され、9ヶ月後の昭和39年6月に船橋市青少年相談員連絡協議会が発足しました。以来、地域社会における青少年の健全育成活動を積極的に推進してまいりました。60年という長い歴史の中で、私たちの活動は多くの方々のご支援とご協力により成り立ってきました。心より感謝申し上げます。この60周年という節目に立ち会うことができたことは、私自身にとっても大きな喜びでもあります。

2024年11月10日に船橋市民文化ホールにて60周年記念式典を行いました。第一部の記念式典には、松戸船橋市長ほか、多くの来賓の方々にご参加をいただき、日頃、船橋市青少年相談員が行っている連協活動とブロック活動、地域活動の報告をいたしました。連協活動では、毎年7月にキャンプ、11月につどい大会(スポーツ大会)を行っており、キャンプ、つどい大会とも毎年100名ほどの子供たちが参加していることを報告。地域活動は、各公民館の「福祉まつり」

「こどもまつり」「文化祭」などのイベントのお手伝いの報告をいたしました。

第二部の記念公演では、船橋市立船橋高等学校吹奏楽部と、同校卒業生のミュージシャンである声松雄一様による演奏をしていただきました。本式典の趣旨をご理解いただき、お越しいただいた児童生徒とその保護者の皆様や地域の皆様に喜んでいただける演目としていただき、感謝しております。60周年記念式典を無事に終えることができました。多くの方々にご支援いただきましたこと、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

これからも地域の子供たちが安心して成長できる環境作り、他団体との繋がりを深め、船橋市の発展に邁進してまいります。引き続き船橋市青少年相談員をよろしくお願ひ申し上げます。2025年は第22期船橋市青少年相談員の委嘱の年となります。子供が好き、地域貢献がしたい、ボランティアに興味がありましたら船橋市役所青少年課までご連絡ください。

青少年の環境を良くする市民の会・参加団体名 (20団体・順不同)

- 船橋市自治会連合協議会
- 船橋市PTA連合会
- 船橋市青少年補導委員 連絡協議会
- 船橋市民生児童委員協議会
- 船橋市全婦人団体連絡会
- 船橋市社会福祉協議会
- 船橋地区保護司会
- 船橋市スポーツ推進委員 協議会
- 船橋警察署少年警察 協議会
- ボランテア連絡会
- 船橋東警察署少年警察 ボランテア連絡会
- 船橋市青少年相談員 連絡協議会
- 船橋市青少年少女団体 連絡協議会
- 船橋市子ども会育成連絡会
- 船橋市商店会連合会
- 船橋 仏 教会
- 船橋市更生保護女性会
- 船橋 青年 会議 所
- 船橋北ライオンズクラブ
- 船橋中央ライオンズクラブ
- 船橋市有価物回収協同組合

旅の事なら何でもご相談ください!
大型、中型、マイクロバス・ホテル・旅館
グループ・ご家族様・個人旅行もOK

(有)エイト観光
全国旅行業協会 正会員
千葉県知事登録旅行業 第3-508号
TEL 047-469-4880
FAX 047-469-5058
〒274-0816 千葉県船橋市芝山5-32-3
Email: eight-k@am.wakwak.com
担当: 斉藤 智輝

ふなばし アンデルセン公園

常時約150種類
約10万株の草花
が楽しめる、子ども
も大人ものびのび
と遊べる緑豊かな公園です。

〒274-0054 船橋市金堀町525
TEL: 047-457-6627

私たちは皆様の身近なところで活動しています

- し尿収集業務
- 浄化槽点検・清掃
- 下水道処理関連業務
- 給排水設備等清掃・工事
- 水質・土壌等分析業務
- その他の業務

船橋市清美公社 ☎0120-36-3796
船橋市湖見町16番7
http://www.seibikosya-funabashi.com/

～子供達が健やかに成長できるよう、青少年の健全育成活動を応援しています～

船橋市自治会連合協議会との合同視察研修に参加して

船橋地区保護司会 会長 戸松 篤司

令和6年12月17日に午前10時市役所前を参加者32名で出発、花輪IC、京葉高速道路、館山道にて市原SAで小休止その後、君津ICを降り楽しみながら昼食を「房総四季の蔵」で頂きました。午後1時過ぎに視察研修地「市原青年矯正センター」に到着。当該センターは少年院だった旧市原学園を刑事施設に転用し、少年院の処遇ノウハウを生かした少年刑務所として令和5年に開設。入所時概ね26歳未満の知的障害等を有する又は、それに準ずる男子受刑者定員72名を収容。刑事施設では珍しい半解放寮の処遇環境。研修日現在、入所者数30名。当該センターの土屋次長より若年受刑者少年院転用型施設との説明があり、受刑者は全員20代で刑期は概ね1年〜5年未満。センターの処遇方針にて受刑者は、犯罪の背景の一つに障害等により生活上の困難があることを踏まえて自立を図るため社会復帰に必要な知識、技能、態度等身に付けられるように外部専門家の協力を頂きながら各種プログラムを実施、教育・福祉・医療・就労等の専門



と熱い思いを告げた。日常生活の寮、作業等は、コロナ感染症発生により視察できず質問時間等で予定時間をオーバーして笠森観音は入場できず一路船橋へ帰る。今回は、刑事施設でも転用型の特性を生かした場所前回と違い皆さんの質問で改めて更生保護へのヒントにもつながる視察研修でした。

家が手厚い指導を展開、障害特性に応じた指導①自己理解指導②障害特性別指導③課題解決能力向上指導④認知機能・身体能力向上⑤対人関係円滑化指導⑥ライフスキル指導⑦ビジネススキル指導等を通して、自己の障害に対する理解を深め、自分の特性や困りごとについて周囲の人に説明、相談する力を身に付けて貰い、再犯防止と社会復帰をセンター職員一同が願い、「社会へ一人ひとりが繋げていくことが使命」と熱い思いを告げた。日常生活の寮、作業等は、コロナ感染症発生により視察できず質問時間等で予定時間をオーバーして笠森観音は入場できず一路船橋へ帰る。今回は、刑事施設でも転用型の特性を生かした場所前回と違い皆さんの質問で改めて更生保護へのヒントにもつながる視察研修でした。

令和6年11月16日(土)中央公民館講堂において、船橋市自治会連合協議会と市民の会合同事業である青少年健全育成講演会が行われた。講師はローマ、東京オリンピックの体操男子団体金メダリストの鶴見修治氏で「体操人生を振り返って」と題して講演された。体操選手は体操はできるが、話すことは苦手ですと言われ、また腰を痛めているということではイスに座り静かな声で話された。まず昨年はフランス、パリでオリンピックピックがあり、千葉からの体操選手の活躍はすばらしかった。勝負はいつでも、何かがあるかわからない中で、彼らの努力はもちろんであるが、指導された先生方のお力も大である。

そしてご自身が出場された1960年のローマオリンピックを振り返り、なんとしてもその当時強かったソビエト連邦を破るんだという強い心で競技に臨んだと話される。東京、浅草で生まれ、幼少期は戦争で疎開の経験味わった。疎開先は両親のふる里で、良い村の

人と出会い、山を崩して作物を作り、浜名湖で魚をとったり、農繁休みやマラソン大会もあった。何不自由なく自由奔放に過ごした疎開生活である。体操を始めたのは高校の時、基本も知らずに体操部に入った。それでも技を覚えるのは楽しく、関東大会にも出場した。大学では、全国から集まった沢山の部員との寮生活で我慢強くなれた。大学四年の時、大学選手権大会で優勝、海外遠征にも行った。費用は自己負担、口に合わない食事、帰路でのトラブルで海外遠征の大変さも味わった。体操、いま現在、日本の選手は強い、が、このまま続けても、人まねしても駄目。海外へ出て力をつける選手もいる。ITなどをとり入れ、若い指導者、コーチを率先して迎えることである。ひとつ、ひとつの技が実を結ぶことに繋がるのだから。

青少年健全育成講演会 くオリンピアンが語る体操人生を振り返って

二宮中学校区青少年の環境を良くする市民の会 加藤 幸子



会もあった。何不自由なく自由奔放に過ごした疎開生活である。体操を始めたのは高校の時、基本も知らずに体操部に入った。それでも技を覚えるのは楽しく、関東大会にも出場した。大学では、全国から集まった沢山の部員との寮生活で我慢強くなれた。大学四年の時、大学選手権大会で優勝、海外遠征にも行った。費用は自己負担、口に合わない食事、帰路でのトラブルで海外遠征の大変さも味わった。

習志野台地区青少年の環境を良くする市民の会は、昭和55年に発足したPTA環境浄化懇談会から始まりました。この懇談会は習志野台第一小学校、習志野台第二小学校、習志野台中学校の3校のPTAを中心に、各校長、市補導委員から構成され、その後近隣の町会・自治会、青少年関連団体等が加わり現在の市民の会へと発展してきました。パトロールはもとより、痴漢発生防止や家族の絆を深める意味を記した標語の看板を地域の公園や街角に39枚設置し、維持管理しています。また、OBが協力し清掃にも努めています。平成17年度より始まった公民館の「ふなばしハッピーサタデー事業」は毎年地域の子供たちの笑顔あふれる参加を楽しみにいろいろな企画をしています。一昨年は子供のためのマリナーとヴィブラフォンコンサートを開催しました。パークッション・パフォーマンス・デュオ「カラムス」の演奏にはたくさん工夫がされ

また昨年3月には、習志野台・西習志野地区自治会連合協議会のお声掛けにより第1回桜まつりに出店させていただきました。令和4年度上期をもって廃止になった有価物・資源ごみ回収費(協力金)を収益金で補うことができました。私達大人が協力することが大切だなと感じました。習志野台の子供たちの安全・幸せを願って今後も地域の方と協力してまいります。

継続していける活動を

法典地区青少年委員会 佐々木 奈美子

法典地区青少年委員会は法典地区自治会連合会を母体とし、法典地区にある小中高と特別支援学校の計9校、各町会を中心とした様々な団体計12団体約60名の会員で構成されています。毎年、会長や副会長を中心とした5名の常任理事と小中学校より1校の当番校を常任理事とし、年間の活動内容を共に考え地域の行事にも一緒に参加しています。

1年毎に当番校制として各学校と協力して活動することにより、各地域との和が広がります。また、その時々の子育て世代の方々と話し合う中で、新しい発見や法典地区が守り続けている伝統に触れてもらう事が出来ています。時代に合った活動とは何か、移り住んで来られた若い世代の方々と学校と地域の活動を通じて考えていくことが大切なので、本委員会の役割はとても重要だと感じています。

毎年の行事予定はほぼ決まっております。難しい活動はありません。全会員が集まって各団体の情報交換をする理事会は年に3回、そ



の他講演会、勉強会、啓発活動、広報誌発行、年3回の自治会の行事のお手伝いです。この様に活動内容を固定することにより、次の当番校に引き継ぎ易くしています。昨年の講演会は、6月22日に船橋市長・松戸 徹様をお迎えして開催いたしました。昨年の青少年健全育成講演会に参加させて頂いたメンバー全員一致で、この講演会のお話を法典地区の子育て世代の方々に聞いて欲しいという話になり、川崎会長に申し出たところ直ぐに動いてくださり、市長も講演の依頼を快諾して下さいました。このように、会員が伝えた思いを直ぐに実行できる風通しの良さや行動力を、今後も若い世代に引き継いでいけるよう努めて参りたいと思っています。

習志野台地区青少年の環境を良くする市民の会は、昭和55年に発足したPTA環境浄化懇談会から始まりました。この懇談会は習志野台第一小学校、習志野台第二小学校、習志野台中学校の3校のPTAを中心に、各校長、市補導委員から構成され、その後近隣の町会・自治会、青少年関連団体等が加わり現在の市民の会へと発展してきました。パトロールはもとより、痴漢発生防止や家族の絆を深める意味を記した標語の看板を地域の公園や街角に39枚設置し、維持管理しています。また、OBが協力し清掃にも努めています。平成17年度より始まった公民館の「ふなばしハッピーサタデー事業」は毎年地域の子供たちの笑顔あふれる参加を楽しみにいろいろな企画をしています。一昨年は子供のためのマリナーとヴィブラフォンコンサートを開催しました。パークッション・パフォーマンス・デュオ「カラムス」の演奏にはたくさん工夫がされ

また昨年3月には、習志野台・西習志野地区自治会連合協議会のお声掛けにより第1回桜まつりに出店させていただきました。令和4年度上期をもって廃止になった有価物・資源ごみ回収費(協力金)を収益金で補うことができました。私達大人が協力することが大切だなと感じました。習志野台の子供たちの安全・幸せを願って今後も地域の方と協力してまいります。

また昨年3月には、習志野台・西習志野地区自治会連合協議会のお声掛けにより第1回桜まつりに出店させていただきました。令和4年度上期をもって廃止になった有価物・資源ごみ回収費(協力金)を収益金で補うことができました。私達大人が協力することが大切だなと感じました。習志野台の子供たちの安全・幸せを願って今後も地域の方と協力してまいります。